

2022企画課オリジナルパネル制作について

1. はじめに

- 企画課では整備局全体の広報を担当しており、最近ではTwitterなどのSNSコンテンツなどを活用することも多くなっている。
- イベント開催時に整備局業務などについてパネル展示をすることが多いが、企画課では各部からのパネルを収集・設置するだけでなく、自らが制作する場合がある。
- 本報告では、そのパネル制作の過程について紹介する。

2. 従来手法と企画課の取組み

【これまで・・・】

発案～制作の
ほとんどを
担当者まかせ



デザイン
も含めて
業務発注



【企画課では・・・】

発信者が楽しく取組む
→結果的に受取り手も楽しい
& 担当者任せとせず
課員全員が参加



3-1. パネル制作手順

①担当者による 素案作成



既存資料流用を
主に簡易な
素案を複数作成

②係長らと素案 PICKUP



相談して2枚程度
PICKUP (PC上)

③A1印刷実施



実際のサイズ
感などを確認

④課内コンペ開催



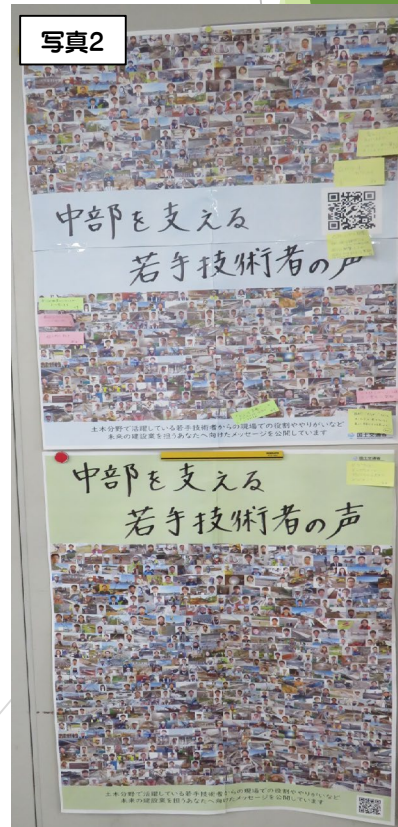
実物大ポスターを
課内掲示し、
課長・補佐らを含めた課内メンバーの意見
を付箋紙記入(写真1.2)

写真1



↑【写真1】インフラツーリズム「旬な現場」PR用の2パターン
※貼付付箋は課員らの意見を記入したもの

写真2



【写真2】建設業担い手確保サイト「若手技術者の声」PR用の2パターン

3-2. パネル制作手順

○付箋意見の最終確認後、修正作業を実施



写真3

↑【写真3】課員意見の確認状況

【写真4】修正後の完成品→

【主な意見】(修正点)

QRコードが目立たない！

写真の内容がわかりにくい！

文字が小さい！

文字色がヘン！

etc...



4. パネル展示した「国土交通デー (7/16) イベントin木曽三川公園センター」の実施状況

○中部地方整備局の業務を各種紹介したが、来場者アンケートの結果、
パネルの効果もあってか、「旬な現場」への関心がトップに！



写真5

←【写真5】自ら作成のパネルを用いた
イベント来場者への事業説明

↓【写真6】子供向けペーパークラフトの展示



写真6

5. おわりに

- 皆さんからの意見をもとに自ら制作したパネルなので、内容理解も進み、説明しやすかった。
- 地元説明や他業務にも、このノウハウを活かしていきたい。

